

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-3-6	事務事業名 タクシー料金助成事業	所管部課 健康福祉部 障害福祉課
----------------	---------------------	---------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	電車・バス等通常の交通機関を利用することが困難な在宅の心身障害者が、タクシーを利用する場合に、その利用料金の一部を市が助成することにより、心身障害者の交通手段の確保と経済的負担の軽減を図り、もって福祉の増進に寄与することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
	【事業内容・実施方法等】 市単独事業として、月額3,000円のタクシー券を交付している。毎年8月に申請を受け付け、翌年の7月分までの1年分を交付している。対象者にはタクシー券の交付を行い、タクシー事業者から使用した分の請求を受け、清算となる。 【対象者】 ①身体障害者手帳1～3級の方 ②愛の手帳1～3度の方 ※支給対象外 所得基準額超過者、施設入所者。なお、自動車燃料費助成との併給はできない。 (予算事業名:03.01.02.25 心身障害者タクシー料金助成事業費(タクシー料金助成費))	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)		58,525	59,910	59,565	61,418
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
その他 ()					
一般財源		58,525	59,910	59,565	61,418
所要人員(B)	人	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,381	2,463	2,381	2,490
臨時職員賃金等(C')	千円	62	74	65	91
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	60,968	62,447	62,011	63,999
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (受給者数)	千円	29	30	29	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① 受給者数	実績値 人	2,088	2,106	2,109	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 毎年、新規受給者は200人を超えるが、転出・死亡など喪失も同程度あり、受給者数(各年度末)は微増で推移している。受給者の内訳は、身体障害者手帳所持者が90%、愛の手帳所持者が8%、重複所持者が2%程度の割合となっている。					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 支給額	目標値				
	実績値 千円	55,948	57,266	56,935	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 受給者数が微増であり、支給額も大きく増減はない。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	直近ではアンケートなどは行っていないが、過去に実施した計画策定時のアンケートでは利用したいサービスとしてタクシー料金助成・自動車燃料費助成は上位の回答を得ている。また、日頃からタクシー券に関する問合せは多い。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市のうち23市で同様の助成制度を実施している。23市の平均は月額約2,900円で、障害種別による移動の困難性に応じて対象となる等級の範囲を設定している例があるが、総合的にみると本市は、ほぼ中位と考える。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	交通手段の確保及び経済的負担の軽減を図る目的のサービスとしてタクシー料金助成制度がある。また、車いすでない外出が困難な方や手帳所持者を対象とするNPO法人等による移送サービスがある。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>在宅の心身障害者の移動を支援するサービスとして広く定着しており、過去のアンケート調査からみても、利用者は多く市民ニーズが高い事業である。</p> <p>合併以前から実施している事業で、現在は1年ごとにタクシー券を交付し、利用があったタクシー事業者から請求をもらう形で助成しているが、この間、対象者要件や助成方法等の見直しを行ってきており、助成額・対象者範囲ともに他市と比較しても中位である。今後、より必要な人にサービスを届けられるよう、他市を参考に利用者の利便性と事務効率の改善を図れる方法がないか、調査・検討を進める必要があると考えている。</p> <p>NPO法人等による障害を有する方への移送サービスもあるが、会員登録や台数に限りがあることなどの環境面から、希望日時に必ずしも利用できる状況ではない。公共交通の利用が困難な障害者への交通手段の確保及び経済的負担の軽減のため、タクシー料金助成は今後も継続して市が実施する必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>本事業は、自動車燃料費助成事業との選択により、在宅の心身障害者の交通手段の確保及び経済的負担の軽減を図り、福祉の増進に寄与する事業として定着しており、社会参画にも寄与している。</p> <p>しかしながら、合併以来サービス水準の見直しが行われておらず、助成額は多摩26市で平均的であるものの、手帳の等級を基準とした対象範囲は上位となっている。</p> <p>そのため、すでに多くの団体で取り入れている障害の区分に応じた等級設定や、公共交通機関の定める旅客運賃の割引基準といった事例を参考に、助成水準とあわせた検証・見直しが必要である。</p> <p>その際には、自動車燃料助成事業との棲み分けとともに、地域活動支援事業の一つとして実施している移動支援利用や、ハンディキャブ・けやき号の運行事業など、心身障害者の外出支援サービス全体のあり方を踏まえて検証されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、移動手段の確保と経済的負担の軽減を図り、在宅心身障害者の福祉の増進や社会参画に寄与する事業であり、必要性は認めるところである。</p> <p>しかしながら、二次評価にもあるとおり、本市の対象としている等級範囲は、多摩26市の中で上位となっており、サービス水準の見直しは行われていない。</p> <p>今後は、他自治体でも実施されている移動の困難性に応じた等級範囲の設定や、公共交通機関の定める旅客運賃の割引基準といった事例などを参考に、見直しに向けた検討を行われたい。</p> <p>なお、見直しに当たっては、自動車燃料助成事業と一体的に検討する中で、心身障害者の外出支援サービス全体として検証されたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成29年度 他自治体の調査を行う。</p> <p>◇平成30年度 調査結果を踏まえた検討を行う。</p> <p>◇平成31年度以降 検討結果を踏まえた対応を行う。</p>
---------------	--